

南アルプス：入笠山スノーハイク

- ◆日程 2023年3月11日(土)
- ◆メンバー L：ST(S)、SK、HY(K)、MT、会員外1名
- ◆天候 晴れ

特急あずさ3号を使い中央線の富士見駅に9:50集合した。八王子から乗車したが車内は満席である、行楽シーズンが本格化している事を実感した。

駅からスキー場への無料送迎バスが出ているが殆どが登山客であった、ゴンドラに乗り込み一気に1700m地点に降り立つと絶景の八ヶ岳を望む事ができる。そこから30分ほど歩くとマナスル山荘に着き、チェンスパイクを装着、更に30分の少し急登を行くと山頂にたどり着く、晴天360度の大パノラマである。八ヶ岳の阿弥陀岳、赤岳が良くわかる、南アルプスの甲斐駒ヶ岳、仙丈ヶ岳、間ノ岳、更に目を移すと中央アルプス木曾駒ヶ岳、宝剣山もよくわかる、少し遠くに北アルプスも、1時間ぐらい居ても飽きない景色を堪能しながら昼ご飯を取る。

山頂から先、大阿原湿原へのスノートレッキングに移る。登山客は少なくなり雪の平坦な林道を歩く、時々道を外れると膝上まで雪に埋まるが楽しい。湿原の木道を辿り静かな我々以外誰も通らない道を景色を楽しみながら、のんびりしながら1週する。

帰りは来た道をゴンドラまで急ぐ、途中八ヶ岳ビューポイントで休憩してマナスル山荘手前まで降りてきたところでヒップそりの出番になる、尻セード(ヒップそり使用)で下降が出来た。

(記：ST)

以下はHY(K)さん感想：

雪山を歩くのは初めてで、新調したチェンスパイクを装着するのもストックからバスケットを外すのも手伝っていただき、タイムロスをさせてしまいました。

CLに脇道を歩くことを勧められ、膝まで脚が落ちる感覚やバスケットがない場合のストックの差し込み具合も経験させていただきました。山頂の360°に広がる大パノラマと、大阿原湿原の静寂、ソリ遊び、新しい体験ができるって楽しいと山岳会に入会した喜びをひしひしと感じる山行でした。ご一緒いただいた皆様ありがとうございました。



CT：富士見駅 9:42-ゴンドラ山頂駅 10:45 - 11:40 入笠山 12:40-大阿原湿原
13:30-周回-14:30-ゴンドラ山頂駅 16:00